

令和元年 5 月 25 日

## 福岡小児歯科集談会 講演会ご案内

福岡小児歯科集談会 会長 二木 昌人

初夏を感じさせる今日この頃ですが、先生方におかれましては益々ご清祥のことと推察申し上げます。

さて、以下の日程と内容で講演会を企画いたしましたので、皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日時：令和元年 7 月 10 日（水） 午後 7 時 30 分～9 時

会場：福岡県歯科医師会館 4 階 第 4 会議室

講師：福岡歯科大学 名誉教授

本川 渉 先生



講演演題：幼若永久歯外傷への対応

講演要旨：

演者が福岡歯科大学小児歯科に入局した約 45 年前は、小児う蝕の洪水といわれた時代で、小児のう蝕治療に追われた毎日でした。その当時は外傷患者が来院しても外傷に関する参考書なども少なく、その対応法について戸惑い、暗中模索の状態でした。小児う蝕が減少してきた今、小児の外傷患者の比重が増してきていると思います。また、今では歯の外傷のバイブルといわれる Andreasen の著書（Textbook and color atlas of traumatic injuries to the teeth）もあり、1995 年に東京で第 6 回国際外傷歯学会が開催された折、Andreasen の著書の翻訳書も出版されました。現在は、歯の外傷に関し多くのコンセンサスが得られ、国際外傷歯学会（IADT）や日本外傷歯学会のガイドラインなども利用できるようになりました。

東京での第 6 回国際外傷歯学会において演者は各国代表のセッションで日本代表として「小児の歯の外傷について」発表する機会が与えていただきました。それ以来、特に歯の外傷について興味を持ち、臨床だけでなく動物実験などにも取り組んできました。しかし、小児歯科の現場を離れてすでに 10 年になります。したがって、皆様にお役に立てるようなお話は出来ないかもしれませんが、これまでの幼若永久歯の外傷症例から学んだことについてお話をさせていただきたいと存じます。

本川先生ご略歴：

- 昭和 44 年 3 月：九州歯科大学卒業
- 昭和 45 年 9 月：九州大学歯学部助手（歯科矯正科）
- 昭和 48 年 5 月：福岡歯科大学助手（小児歯科）
- 昭和 48 年 9 月：米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学  
（小児歯科）
- 昭和 53 年 6 月：福岡歯科大学講師（小児歯科）
- 昭和 55 年 4 月：福岡歯科大学助教授（小児歯科）
- 平成 2 年 4 月：福岡歯科大学教授（小児歯科）
  
- 平成 15 年 2 月：福岡歯科大学医科歯科総合病院病院長
- 平成 22 年 3 月：福岡歯科大学退職
- 平成 22 年 10 月：福岡歯科衛生専門学校教務主幹（平成 26 年 3 月まで）

参加費：

個人会員歯科医師	無料
医院会員歯科医師およびスタッフ	無料
個人会員医院のスタッフ	1,000 円
ビジター	2,000 円